

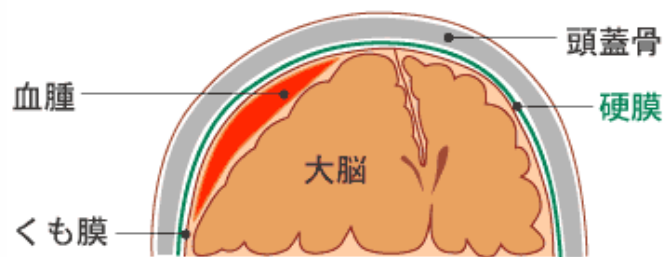


まんせいこうまくかけっしゅ 慢性硬膜下血腫

頭蓋骨のすぐ下に「硬膜（こうまく）」という厚い膜があり、さらにその下に脳を包む「くも膜」という膜があります。

この硬膜とくも膜の間に比較的ゆっくり時間をかけて（通常1～2ヶ月後）血のたまり（血腫）ができてくるものを「慢性硬膜下血腫」と言います。

■慢性硬膜下血腫



きっかけとなる外傷は「転んで頭を打った」「家具や棚などに頭をぶつけた」など、さらには記憶に残らない程度の打撲などの外傷がほとんどですが、全く原因不明のこともあります。ぶつけた直後には特に異常は見られないことがほとんどです。

この病気は中高年以上の男性に多い傾向が見られます。その他の発症に影響する因子として



アルコール愛飲者で肝臓疾患がある方
脳に萎縮がある
（頭蓋骨と脳の間隙が多い）
出血傾向がある場合や脳梗塞の予防で血液をサラサラにする薬(抗血小板剤・抗凝固剤)を飲んでいる場合
透析をしている

慢性硬膜下血腫を生じやすい条件として注意を要します。

症状は？

頭をぶつけた直後の検査では異常がなくても数週間～数ヶ月してから血液がたまり、脳を圧迫して様々な症状がみられます。

頭痛

頭が重たい

頭がすっきりしない

吐き気

言葉がうまく話せない

けいれん

片側の手足に力が入らない、歩きづらい・しびれる

意欲の低下や痴呆症状が出てきた



図 1

上記のような症状が出てきたら、受診してください。

診断：頭を打撲したらその2～4週間後に体に異常を感じていなくても、脳神経外科を受診してCT・MRI検査を受けることをお勧めします。

(図1を参照)

治療：手術が主体となります。局所麻酔をした後、頭蓋骨に約1.5cmの小さい穴を開けて、頭の中にたまった血を洗い流す手術で30分～1時間程度で終了します。

慢性硬膜下血腫は、早期に発見し治療(手術)を行えば、後遺症を残すことなく治癒する疾患です。

江別脳神経外科

江別市中央町1-12(3番通り沿い)

TEL(011)391-3333 FAX(011)391-3311

	月	火	水	木	金	土
午前 9:00～12:00						
午後 2:00～6:00				/	/	/

